

科目名		授業形態	担当教員名	
エックス線撮影技術学Ⅳ		講義	山口 砂織	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
現在の医療においてX線CT装置を用いた検査は、画像診断に欠かすことのできない有用な役割を占めている。この講義では、X線CT装置の基礎的な構成と役割、画像再構成理論や三次元画像処理、造影剤の使用法を学習し、理解する。診療放射線技師として業務を安全に行うために必要な知識や技術を修得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. X線CT検査で用いる造影剤の知識や目的、発生機序を理解できる。 2. X線CT検査の各部位における検査方法、画像表示方法について理解できる。 3. X線CT検査を実施する為に必要な知識（特に血管系などの臨床画像解剖）を得ることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	造影検査① 造影剤の知識や目的			
2	造影検査② 造影効果の発生機序など			
3	X線CT検査の実際① 撮影パラメータ			
4	X線CT検査の実際② 頭部－Ⅰ			
5	X線CT検査の実際③ 頭部－Ⅱ			
6	X線CT検査の実際④ 頭部－Ⅲ			
7	X線CT検査の実際⑤ 頭頸部－Ⅰ			
8	X線CT検査の実際⑥ 頭頸部－Ⅱ			
9	X線CT検査の実際⑦ 頭頸部－Ⅲ			
10	X線CT検査の実際⑧ 胸腹部－Ⅰ			
11	X線CT検査の実際⑨ 胸腹部－Ⅱ			
12	X線CT検査の実際⑩ 胸腹部－Ⅲ			
13	X線CT検査の実際⑪ 心臓・血管系			
14	X線CT検査の実際⑫ 脊椎・関節・四肢			
15	まとめと解説			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	90%	講義内容の理解度を評価する。		
レポート・課題				
小テスト	10%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
CT撮影技術学(改訂4版)（放射線技術学シリーズ）		山口功 他 4名	オーム社	
改訂 X線CTの実践		金森勇雄 他	医療科学社	
自由記載	重要項目等についての資料（プリント）を配布する。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				
講義の理解度によってシラバスを変更する可能あり				